

# 『時事直言』 No.1346 2019年9月17日

時事直言ホームページ：<http://chokugen.com>  
時事直言 携帯サイト：<http://mobile.chokugen.com>  
FAX：03-3956-1313



時事評論家 増田俊男

## サウジ原油施設（2か所）破壊の黒幕は？

イエメンのテロ組織フーシがドローンでサウジ石油精製施設(二か所)を破壊、サウジの日産 570万バレルが半減した。

日本を初め原油輸入国は備蓄があるので当面問題はないが、サウジ原油施設の防衛能力のリスクが明らかになり、一時的問題では済まないだろう。

トランプがイランとの会談に意欲を示していた直後に起こった(起こした)だけに、アメリカとイランとの和解を嫌うアメリカの現行勢力(軍産)とイスラエルにとって喜ばしいことである。

また原油価格の高騰は、今やサウジを抜いて世界一の原油生産量を誇るアメリカと第二、第三のロシア等にとっても喜ばしいことだ。

フーシをバックアップしているのはイランであるから、トランプの意に反してアメリカとイランの関係は悪化することになる。

これでサウジとイランとの関係は一触即発になり、トランプが決めている中東からの米軍撤退が難しくなる。

私は「世界情勢はすべてアメリカの内戦(トランプ対軍産)の縮図である」と述べてきたが、再度認識を新たにすべきである。

アジア情勢を見ても韓国が意図的に対日関係悪化を深めながら北朝鮮と親密度を増しているのは米軍産と日本の軍産派の意図であることも知っておく必要がある。

国際紛争をエスカレートしようとする米現行勢力と紛争を放置又は解決して世界各地の米軍撤退を狙うトランプとの対立は続き、世界はアメリカの内戦に巻き込まれる。

### 増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

現在、増田俊男の「ここ一番！」を FAX 又は e-mail にて配信しております。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S.リサーチジャパン(株)Tel：03-3956-8888、HP：[www.chokugen.com](http://www.chokugen.com) まで。

#### 【最近の配信履歴】

- 09月17日(火) No. 916 サウジ石油施設爆破
- 09月12日(木) No. 915 円独歩高から独歩安
- 09月05日(木) No. 914 ターニングポイント
- 09月03日(火) No. 913 円高はどこまで続くか

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX：03-3956-1313) までお知らせ下さい。